



ボランティア情報紙



謹

賀

新

年



2023年もどうぞよろしくお願ひいたします

今年も市民の皆さんがボランティア活動に、より効果的に取り組めるよう、本紙にて様々なボランティア情報や地域活動に役立つ情報を提供してまいります。

介護予防・生活支援サポーター同士で 情報交換を行いました

昨年の9月15日（木）、10月27日（木）に、介護予防・生活支援サポーター同士の情報共有の機会として、上山市介護予防・生活支援サポーター養成講座フォローアップ編を開催いたしました。講師に山形県地域コミュニティアドバイザーの稲村理紗氏をお招きし、サポーター登録者及び7月開催の講座を受講された計18名の方よりご参加いただき、サポーター同士の交流や意見交換を行いました。



参加者に
お聞きしました！

地域のことで気がかりに思っていることについて

隣近所との関係が希薄化しているため、顔を見て人と人がつながることが必要だと思います。

災害時に支援が必要な方について、どのように対応すれば良いのでしょうか。

一人暮らし高齢者の状況が把握できず、心配です。

コロナ禍で地区の集まりが減り、ひきこもりがちになっている人が増えています。



地域で取り組んでみたい活動やあったら手伝いたいと思う活動について

- ★地域の居場所づくりを行いたい。自宅の一部を地域に開放してみんなが参加しやすいような活動ができればいいと思う。
- ★まずは地区のサロンに参加して、居場所を学びたい。
- ★通院や買い物に困っている方のお手伝いをしたい。
- ★地区と施設との関わりを広げていきたい。
- ★高齢者と子どもとのかかわりを作りたい。



参加者からは、「意見が共通するものも多く、有意義な時間でした。」「経験豊富な方たちとお知り合いになれて、参加してよかったです。」などのご感想をいただきました。講座終了後、参加者同士で連絡先を交換するなど、サポーター同士の新たなつながりづくりとなりました。

社協では、地域のさまざまな情報や社会資源（人、ものなど）をつなぎ、地域のしくみづくりを進めています。皆様の思いを受け止め、地域の支え合いを充実させるための活動を支援してまいりますので、お気軽にご相談ください。



除雪ボランティア活動時の注意



例年、1月以降は降雪量が多くなり、雪下ろしなどの除雪作業中の事故が多発しています。除雪ボランティア活動等を行う際は、安全には十分に気を配り、事故防止に努めましょう。

今回は、除雪ボランティア活動等に参加する際に役立つ情報をご紹介しますので、ぜひご活用ください。

活動時の服装等

手袋(防水ですべりにくいもの)

スコップ等の除雪用具

その他(着替え、タオル、飲み物等)

帽子(屋根の近くならヘルメットが最適)

作業着(防水性に優れ、動きやすいもの)
※インナーは重ね着をして温度調整する。

靴下(厚手のもの)
長靴(防水ですべりにくいもの)

- ⚠ 体調の悪いときは無理をしない。
- ⚠ 屋根からの落雪に注意する。

除雪ボランティア活動中にケガや事故が起きた場合の備えとして、「ボランティア活動保険」があります。
※「ボランティア活動保険」…ボランティア活動中のケガや事故を補償する保険

よくあるご質問

Q. ボランティア活動中にケガをした場合は、どのような手続きをしたらよいですか？

A. まずは、必要な処置または治療を行ってください。その後、できるだけ早めに、団体・グループの代表者または社協までご連絡ください。

Q. ボランティア活動中に誤って他人の物を壊した場合は、補償の対象になりますか？

A. 対象になります。(故意または重大な過失等の場合は除く)
※物損のほか、他人にケガを負わせてしまった場合も対象です。

詳細につきましては、社協までお問い合わせください。

市内の福祉施設で活用するタオルを募集します

○利用用途…感染症対策や環境整備、掃除等

○タオルの種類…サイズや色柄は問いません。

未使用もしくは、数回程度使用したもので結構です。

○各施設までご持参いただくか、下記までお問い合わせください。

施設名	問合せ先
養護老人ホーム 蔵王長寿園	672-0561 (事務室)
特別養護老人ホーム 蓬仙園	679-2366 (担当：高内)
特別養護老人ホーム みずほの里	674-3388 (担当：土屋)
地域密着型特別養護老人ホーム ながすすの里	666-7780 (担当：鈴木)

※順不同



【情報紙に関する問合せ先】

上山市社会福祉協議会

☎：695-5095

(担当：曳地、阿部)

